

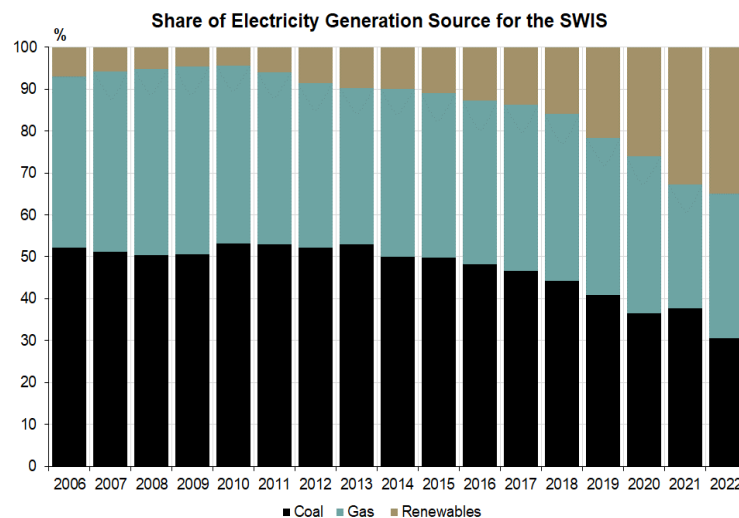
### 西オーストラリア州今月のデータハイライト

- [西オーストラリア州の小売売上](#)は12月、季節調整値で4.7%減少したが、前年比5.9%増となった。
- [州の失業率](#)は12月、0.1ppt上昇し3.5%となった。
- CoreLogic Perth 住宅価格指数は1月、0.3%下落したが、前年比2.7%の上昇となった。
- [パース CPI](#)は第4四半期、州電気クレジットの巻き戻しの影響により3.6%上昇し、前年比8.3%増となった。

### 西オーストラリア州の脱炭素化およびエネルギー安全保障

- 西オーストラリア州は、世界で最も独特なエネルギーシステムを保有している。エネルギー供給網は、オーストラリア国内から隔離しており、州には、再生可能エネルギー変換に不可欠な太陽、風力、天然ガスおよびバッテリー鉱物といった天然資源が豊富である。これにより州内の電力供給において化石燃料への依存を減らすことを目的とする、州政府のエネルギー変換戦略は豊富な機会に恵まれている。
- 過去10年間で、州人口のほとんどへ電力を供給するSWIS(South West Interconnected System)の平均発電量に占める再生可能エネルギー割合は、2012年の10%未満から2022年35%へ増加した。また同時に、石炭割合は2012年の52%から2022年31%へ減少した。
- 発電における再生可能エネルギー割合の着実な成長は、太陽光発電パネルの急速な普及、および風力発電量が過去4年間にこれまでの倍以上に増加しているためである。
- 西オーストラリア州政府は、州が所有する石炭火力発電を2030年までに廃止することを約束しており、最初の閉鎖は2022年10月に行われた。石炭火力発電所の閉鎖により、排出量が40%削減され、2030年までに排出量を80%削減するという目標の達成に役立つ。火力発電所に代わり、州政府は、新規風力開発を含む新エネルギーインフラへ約38億豪ドルの投資を発表した。
- 西オーストラリア州政府の州内ガス政策は、長期的なエネルギー需要に対し、LNG生産の15%に相当する量を州内市場用に確保している。LNG輸出者による州内市場へのガス供給を確実にすることで、州はOECD内で最も低価格なガス料金を維持できており、供給不足による直接的な影響を回避することができる。さらに、投入価格を広く管理することで、国内の他地域と比べ、家庭用電気料金を安定させることができる。

SWIS の発電原料割合



出展：西オーストラリア州政府 鉱山・産業規制・保安省

オーストラリア金利(%)			FX and Equities	
RBA 政策金利目標	3.10	(0 pt)	AUD/USD	0.7054 (↑241 pt)
90 日銀行手形	3.37	(↑11 pt)	AUD/JPY	91.75 (↑2.4 pt)
連邦政府 3 年国債	3.16	(↓35 pt)		
連邦政府 10 年国債	3.56	(↓48 pt)	ASX200	7477 (↑438 pt)

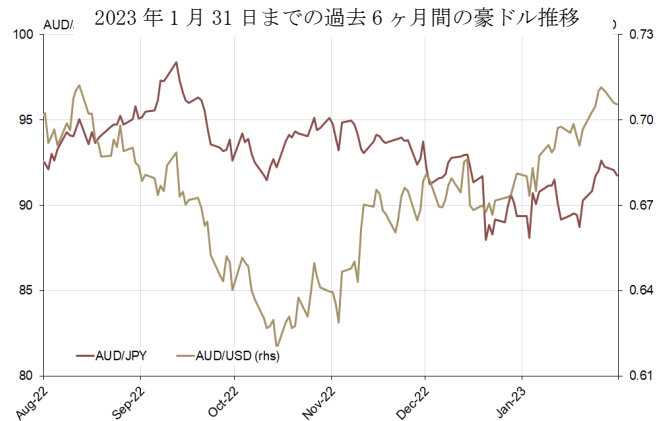
\*10 月末時点。数値は月末時点。( )内は、先月との比較。

## 市場状況

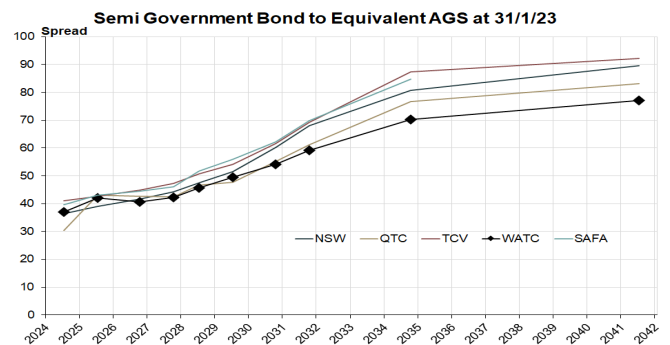
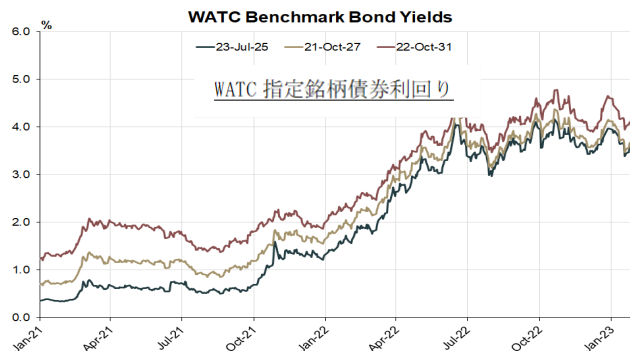
- RBA 理事会は 1 月開催されず、政策金利目標は 3.10%のままであった。先物市場は現在、2 月の理事会で 25bp の引き上げの可能性を 77%としている。
- アメリカのインフレ率が予想より軟調となったことで、2023 年の Fed の利上げ予想が一部静まり、国際的な利回りの下落を受け、オーストラリア債権利回りは 1 月、急落した。
- オーストラリア利回りは、11 月の予測に反する雇用者減少のニュースを受け、最低水準に達した。しかし、第 4 四半期 CPI レポートが予測より堅調であったことを受け、月末に向け上昇した。
- 豪ドルは 1 月、不安定なスタートの後、月間を通じて上昇し、G10 メンバーで最も堅調であった。日本銀行政策委員会が 1 月の会合後、金融政策を変更しないとトレーダーを驚かせる発表を行ったことを受け、豪ドルは日本円に対し急激に上昇した。
- 豪ドルは、米ドルに対し 3 カ月連続で上昇し、昨年 8 月以来となる USD0.70 超えとなった。
- オーストラリア株式は 12 月の下落の後、1 月には堅調に回復した。ASX200 は当月 6.2%の上昇となり、昨年 4 月以降の最高水準となった。

WATC 指定銘柄債券株利回り		
満期	利回り 31/1/2023	AGS スプレッド 31/1/2023
16 October 2023	3.59 (↓1 pt)	+39 pt (-)
23 July 2024	3.59 (↓27 pt)	+37 pt (↓13 pt)
23 July 2025	3.57 (↓41 pt)	+42 pt (↓6 pt)
21 October 2026	3.59 (↓43 pt)	+41 pt (↓6 pt)
21 October 2027	3.66 (↓46 pt)	+42 pt (-)
20 July 2028	3.73 (↓49 pt)	+46 pt (↓4 pt)
24 July 2029	3.85 (↓50 pt)	+49 pt (↓3 pt)
22 October 2030	4.00 (↓50 pt)	+54 pt (↑2 pt)
22 October 2031	4.11 (↓50 pt)	+59 pt (↓3 pt)
24 October 2034	4.37 (↓46 pt)	+70 pt (↓5 pt)
23 July 2041	4.71 (↓43 pt)	+77 pt (↓6 pt)

\*Spreads are to nearest Commonwealth Bond.



AGS に相当する準政府債 (2023 年 1 月 31 日現在)



ここに記載された全ての見解・判断・結論・予想・予測または評価は、弊社が信頼に足るものと判断した情報から構成されております。しかしながら、弊社は、情報の正確性を保証するものではありません。したがって、弊社としましては、誠意をもってこれらの提案をいたしておりますが、全ての決定権は貴方にあり、慎重にご検討されるようお願い致します。また、これらの提案は、特定の事項に関する専門的助言に代わるものではありません。これらの提案を受諾または拒絶する際には、事前に具体的な要望や状況に関し、必ず弊社にご相談ください。